



梅学習で青梅収穫（高城小学校）



梅の日 梅おにぎり美味しいよ！（上南部 小学校）



活気にあふれた梅の収穫作業

■令和3年度補正予算・各条例等の審議	2～6
■町政のここが聞きたい 一般質問に3議員が登壇	7～10
■常任委員会レポート.....	11
■広報モニターからの意見.....	12
■読者との交流ページ.....	13
■移住者インタビュー.....	14

令和3年度一般会計補正予算 約1億3,000万円を追加!

町内の商業者支援・町道自然災害防止対策・共和球場駐車場取得など

提案された10議案を原案通り可決!

5月定例会は、5月10日から24日までの15日間の会期で開催されました。第1日目には、小谷町長が開会に当たり、行政報告を行いました。コロナ感染症対策として、町民の安全を図るために対策本部で情報共有を図りながら、ワクチン接種を計画的に進め、65歳以上の方は7月末までに2回接種を終え、このまま順調に進めば、10月末までに16歳以上の希望者に接種を完了させたいとの考えを示しました。

また、青梅収穫シーズンを前に、管内で5月1日に発生した降雹被害について、翌日の調査時点で30%以上の被害園は約22ヘクタールに及び、今後、国・県・JAと共に対策に当たりたいとの考えを述べました。

その後、6件の専決処分、国民健康保険税条例の一部改正等の各条例改正の承認に続いて、令和3年度一般会計補正予算案等について、提案理由の説明を受けました。

第2日目には一般質問を行い、3議員が登壇しました。「農業振興地域における農地転用」「臨時特別出産祝い金支給の延長」「新型コロナウイルス感染の状況」「空き家、移住、後継者対策」などの問題を取り上げ、町政をただしました。

最終日には、「西本庄グラウンド改修」「防災拠点整備」「梅ヶ丘周辺の污水管・下水道事業」の工事請負契約や「消防車両の売買契約」の締結、さらに一般会計・特別会計に関する補正予算案が担当課長より説明され、質疑が行われました。採決の結果、提案された10議案を原案通り可決しました。

また、委員会発議として「新型コロナウイルス感染症対策で、医療・介護従事者への支援を求める意見書」「みなべ町議会議規則の一部を改正する規則」が上程され、続いて閉会中の議員派遣、各委員会での閉会中の事務調査を承認し閉会しました。

雹被害額は約1億7,000万円



順調に進むワクチン接種



5月定例会の

一 般 会 計 補 正 予 算

項 目	補正額	主な内容	総 額
一 般 会 計	1億 2,879万円	新成人特別給付金 159万円 コミュニティ助成事業 500万円 敬老お祝い金 678万円 こども園整備事業補助金 2,730万円 子育て世帯生活支援特別給付金 500万円 農地造成概略調査業務委託料 44万円 ナデオ農道整備事業土地購入費 1,778万円 みなべ町漁港施設等整備事業補助金 183万円 みなべ町商工会 1,450万 町道市井川線緊急自然災害防止対策工事 2,000万円 遠足等バス借上料 160万円 須賀神社本殿保存修理事業補助金 1,104万円 共和球場駐車場用地購入費、物件補償金 1,074万円	88億 1,379万円

●注目予算のピックアップ

敬老お祝い金 678万円

新型コロナウイルス感染拡大をうけ例年開催していた敬老福祉大会を中止することになりました。そこで敬老のお祝いとして対象者全員（2,262人）に3,000円の商工会商品券を配布するための予算です。

こども園整備事業補助金 2,730万円

「みなべ愛之園こども園」に対し、施設用品、保育用具、遊具などの整備・購入費用を補助するものです。主なものは、園児保育室の机や椅子、お昼寝ベッド、知育玩具や食器類、園庭の大型遊具や運動用具です。

子育て世帯生活支援特別給付金 500万円

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、ひとり親世帯以外の低所得の子育て世帯に対し、生活の支援を行うものです。児童一人当たり一律5万円。
注) 支給手続きには申請が必要な場合があります。

みなべ町商工会 1,450万円

- 30%プレミアム商品券 5,000セット発行補助（900万円）
- プレミアム付食事券（みなべGo To Eat）1,000セット発行補助（550万円）
1セット5,000円で販売し、10,000円分の食事、テイクアウトに利用可能。

須賀神社本殿保存修理事業補助金 1,104万円

県指定文化財である須賀神社本殿の老朽化がひどく、保存のために修理を行う予算です。概要は檜皮葺屋根の葺き替え、彩色・塗装等です。総工費7,800万円のうち1,104万円を補助するものです。

共和球場駐車場用地購入費、物件補償金 1,074万円

従来の駐車場の一部を地権者に返却したために駐車場に不足が生じていました。現駐車場の隣接地を新たに購入して駐車場にするための予算で、用地購入費（726万円 1,141㎡）、物件補償金（348万円）です。

今回の主な条例改正の内容

●みなべ町国民健康保険税条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症の影響による国民健康保険税軽減の特例制度が延長になり、所得割の税率が改正されました。

医療分の所得割は	100分の4.43 → 100分の4.59
後期支援分の所得割は	100分の1.19 → 100分の1.30
介護分は	100分の1.05 → 100分の1.25

前年度と収入額や固定資産税額が同じである場合の世帯の例

モデル世帯 (介護分該当)	世帯の給与 収入合計	R3年度 所得	R2年度 所得	固定資産 税額	R3年度税額 見込み	R2年度税額 見込み	増減割合
単身	80万	25万	15万	無	23800	23800	100.0%
夫婦2人	150万	95万	85万	無	98100	95600	102.6%
夫婦2人 子供2人	300万	202万	192万	5万	274700	267300	102.8%
夫婦2人 子供2人	500万	356万	346万	5万	421800	407000	103.6%

新型コロナウイルス感染症対策への意見書を採択

総務文教常任委員会から『新型コロナウイルス感染症対策で、医療・介護従事者への支援等を求める意見書(案)』が提出され、全会一致で可決し、国の関係機関および県に送付いたしました。

新型コロナウイルス感染症は、経済活動や住民生活に深刻な影響をおよぼすとともに、「医療崩壊」が懸念され、住民のいのちと健康が脅かされる事態が広がっています。

医療機関や介護事業所に従事する職員は、誇りをもって働いていますが、経営悪化のため、年末一時金が削減された職員もいます。住民のいのち、福祉を支える医療・介護職員への支援が急がれます。

医療や介護の現場は日常的に人手不足が深刻ですが、新型コロナウイルス感染症への対応のために、人手不足に拍車がかかっています。感染症や自然災害などに備えて、普段からゆとりのある医療や、介護サービス提供体制が求められます。

以上のことから、地域住民の医療・福祉を守るために下記事項に特段の措置を講じられるよう強く要望します。

記

- 1 医療機関や介護事業者の損失補填を行い、従事する職員の賃金・一時金を確保すること
- 2 医師、看護師はじめ医療従事者、介護従事者を増やし安心安全の医療・介護体制をつくること

※本意見書は、和歌山県医療労働組合連合会より、本議会に請願されたものです。

主な議案質疑
Q&A編
抜粋

一般会計補正予算

生活環境課

印刷製本費

(700万円減額)

Q ゴミ袋の印刷費が700万円の減額となった理由は。また、コロナの影響はあったのか。

A ごみ袋の上が閉じやすいレジ袋タイプに変えたので、より多く入るようになり、ごみ袋の数は減ってきています。ごみの量としてはそんなに変わっていません。

翌年のストック分もあり、予算が余ってくる状況もあります。

一般家庭のゴミ量は、コロナの影響は考えられませんが、事業用では大きく減っているように思います。



住民福祉課

医療費扶助費

(2,070万円減額)

Q 重度心身障がい児者医療費及び子ども医療費扶助費の減額についての説明を聞きたい。

A 重度心身障がい児者医療費は、新型コロナウイルスの影響はなく、令和元年度の対象人数が335人から2年度に318人になりましたので、人数の減少による減額となっています。子ども医療費は、対象が18歳の3月31日までであり、

学校の休業やクラブ活動の自粛でケガの減少、新型コロナウイルス感染症の対策等により、インフルエンザ患者の減少で医療費が少なくなったと考えています。

産業課

中山間地域等直接支払事業費(6,746万円減額)

Q 交付金の10割交付から8割交付への変更、急傾斜地の補助が減額された理由は。

A 10割交付を受けるには、集落による新たな体制整備の取組が必要となり、事務が煩雑となったため、これまで10割交付が23集落であったのが、令和2年度には3集落となりました。また、超急傾斜地加算は、PR活動等を行うことが必須条件となっています。コロナの関係でPR活動ができなくなったという事で交付金の減少となりました。



教育学習課

西本庄グラウンド改修工事請負変更契約(374万円)

Q U型水路が37mの追加工事とあるが、もともと計画にはなく、新設で追加するものなのか。

A 水路はもともと計画には入っていません。既設のものを再利用する予定でしたが、傷んでいるなど、不具合が生じたので、新しいもので施工することになりました。

総務課

物品売買契約 小型動力ポンプ積載車(軽) 2台 (662万円)

Q 同じ仕様でも各社の入札金額に大きな差があるが、その理由を聞きたい。

A 2台の入札金額で560万円ほどの差がありますが、仕様書通りの車両と付属品を納入してもらいます。昔から実績のある業者に決定しました。車両価格は各社とも似ていますが、付属品は各社様々でここで大きな差が出ています。



教育学習課

教育諸費 バス借上料（160万円）

Q どういう補助金なのか。

A 学校保健特別対策事業費補助金という事業で、修学旅行のコロナ感染症対策として分散して乗車するためのバスの増便分の上乗せです。

産業課

農地造成概略調査業務委託料（44万円）

Q スマート農法に対応できる農地造成とのことだが、候補地はどこなのか。規模はどの程度のものか。

A 担い手の方々より高城地域で候補地の提案をしていただいています。10ha以上であれば、県営事業で補助率が国・県合わせて80%になるので、10haを1つの規模と考えています。

Q どのようなスマート技術導入を想定しているのか。

A 技術的にはこれからの課題です。急傾斜地ではなくて農地造成地での希望となっています。まずは候補地の概算事業費を出して、色々な形で進めていきたいと考えています。



青少年センター運営費 報酬（97万円）

Q どのような方が採用されたのか。

A 元JR職員です。学生等による乗車に関わる様々なトラブル等の状況を考えて、採用させていただきました。6月1日からの雇用となります。

Q 申請が必要な方への情報発信の方法は。

A 広報、ホームページへの掲載、対象者への案内の配布を予定しています。

健康長寿課

敬老お祝い品（678万円）

Q 敬老お祝い品の年齢範囲、また利用の有効期限はどのようなものか。

A 商工会の商品券3,000円で、対象者は令和3年度で、75歳になられる方を含めて、2,262名分です。利用期限の設定は今のところ考えていません。

産業課

水産業総務費 漁港施設等整備事業補助金（183万円）

Q 貯氷庫内の冷凍機の故障ということですが、現在の状況は。



住民福祉課

子育て世帯生活支援特別給付金（500万円）

Q 対象児童1000人分（1人当たり5万円）との算定の理由は。

A 現在の町内の児童手当受給者等の対象者が、約2,000人います。それに対して5%ぐらいを想定して計上しています。



A 3月から故障をしており、昭和61年建設当時の設備で、部品もなく修理もできません。製氷ができず、現在田辺市和歌山南漁協さんをお願いをして、皆さん購入に行って頂いておりまます。できるだけ早く修繕にかかりたく予算計上しています。

今回、事業費の2分の1の補助を行います。

一般質問

3人の議員が登壇



登壇順で掲載しています。

ページ	質問者と質問内容
P 8	山本 秀平 議員 ① 農業振興地域における農地転用について
P 9	池田 三千留 議員 ① 臨時特別出産祝い金支給の延長について ② みなべ町として新型コロナウイルス感染の現況をどう捉えているのかを問う
P 10	玉井 伸幸 議員 ① 待ったなし一空き家、移住、後継者対策

町政の
ここが聞きたい!

議会の動き

4月6日	郡議長会総会（議長）、広報特別委員会
4月8日	広報特別委員会
4月16日	広報特別委員会
4月20日	紀南環境広域施設組合例月出納検査（議長）
4月26日	会計例月監査（下村議員）、田辺市周辺衛生施設組合例月出納検査（出口議員）
4月28日	紀南病院組合議会臨時議長会（議長）
5月7日	議会運営委員会、全員協議会
5月10日	令和3年第2回定例会開会
5月12日	総務文教常任委員会
5月17日	全員協議会、総務文教常任委員会、産業建設常任委員会
5月21日	奨学生選考委員会（議長）
5月24日	令和3年第2回定例会閉会、御坊日高老人福祉施設事務組合議会臨時会（谷本議員）
5月25日	紀南環境広域施設組合例月出納検査（議長）
5月26日	会計例月監査（下村議員）
6月6日	梅の日記念式典（議長）
6月23日	紀南環境広域施設組合例月出納検査（議長）
6月28日	田辺市周辺衛生施設組合例月出納検査（出口議員）
6月29日	会計例月監査（下村議員）
7月2日	郡議長会（議長）
7月5日	広報特別委員会、御坊日高老人福祉施設事務組合議会定例会（谷本議員）

やま もと しゅう へい
山本秀平 議員



農業

質問 農業振興地域における農業用施設の設置について
答弁 農用地区域から除外可能な土地に



質問 倉庫を建設したいが、200㎡までの倉庫しか建てられない規制がある。200㎡までだと十分な設備をそろえられないため、何とかしたいとの相談をうけました。その倉庫建設予定の用地は、農業振興地域に指定されており、周囲が優良農地であることから、農業振興地域の除外が認められない土地でした。しかし、これから農業者数の減少による一農家あたりの生産量が増えることが考えられ、農用地区域においても農業用施設を新設したいと考える方が増えてくると考えられます。農業振興を進めるためにも、生産量を増やすことを前提とした農業用施設の設置については、農用地区域であっても認めていくべきではないかと思います。また、農林水産省

の説明を見ると、農業振興地域は原則、農地転用ができないが、農業用施設に限り、例外的にすべての農地に設置可能との記載があります。みなべ町としての考えをお聞きかせください。

また、農業振興地域での宅地転用は、様々な基準があり、その基準を満たすことができません。家を建てられないことによって、他市町村への人口流出につながる懸念があります。前回の農業振興地域整備計画の策定は平

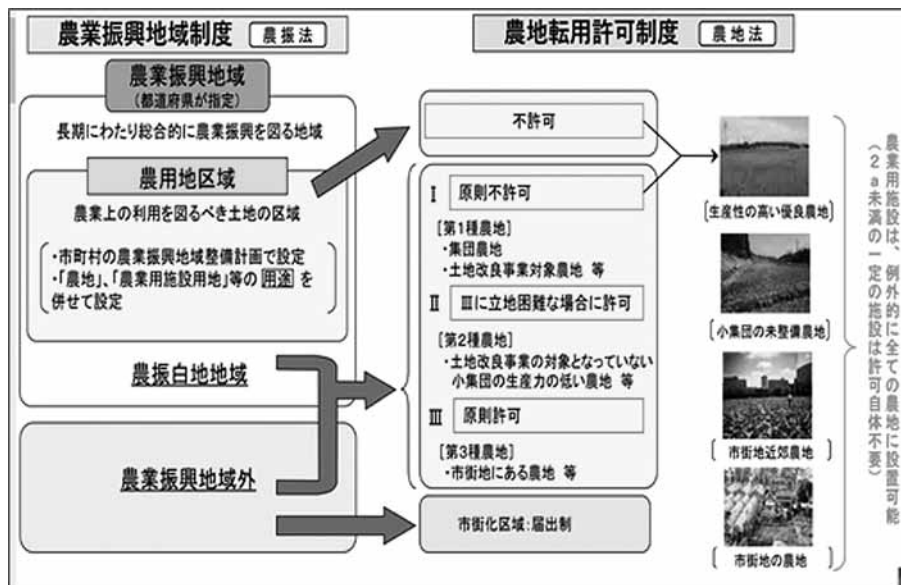


図1 農林水産省 HP より

成20年です。スマート農業や農地造成事業の計画等、農業振興についての考え方も変わってきているかと思えます。そこで、二点目、農業振興地域整備計画の見直し時期についての考えをお聞かせ願います。

町長 質問の農業用施設に限り例外的に全ての農地に設置可能とのことですが、農業用施設用地として指定された場合は、設置可能となります。しかし、優良農地や周辺が農地に囲まれている場合には周辺の営農に支障を及ぼす恐れがあり、指定することができないと考えています。よって、200㎡以上の農業用施設を設置するためには農用地区域から除外可能な場所をお願いしたいと考えています。また、農業振興地域整備計画の見直し時期に

ついては、県との協議、地域との調整、基礎調査等を行う必要があります。時間を要します。今後の地籍調査の進捗状況や地域の状況を見ながら慎重に検討していきたいと思えます。

再質問 みなべ町の事例をみると、第一種農地では200㎡以上の設置が許可されていて、農用地区域では許可が下りていません。その理由をお聞かせください。
産業課長 第一種農地で許可されているところは、基盤整備などの際に、農振地域から除外をしているところであると考えられます。
再々質問 実際に相談のあった場所で現地調査は行われましたか。
産業課長 農業委員会に相談があった場合は、現地調査をし、申請をされた方に説明を行います。



子育て支援

いけだみちる 池田三千留 議員



質問 臨時特別出産祝い金支給の延長を
答弁 少子化対策として出産祝い金を復活支給するのも一つの方法



質問 臨時特別出産祝い金支給の延長についてのお考えを求めます。
町長 新型コロナウイルス感染症の拡大は、今のところ収まる気配が見られません。県下におきましても医療の逼迫が懸念されています。

みなべ町の宝である新しい命は誕生しています。コロナ対策の地方創生の臨時交付金を使って延長を求めます。
町長 収束に至っていない状況の中で臨時交付金の使い方については総合的に勘案をして検討しています。ただ、特別出産祝い金については、少子化対策として出産を奨励し、子ども人口の増加を図る一助になり得るのであればコロナであつてもなくともずっと誕生祝い金を支給するのも一つの方法かなということ、今検討を始めています。

再質問 コロナ禍でも、
町長 田辺保健所管内でも医療の逼迫や景気低迷を危惧されています。PCR検査で潜在感染者を見つけていくことも感染拡大を食い止める一策であり、県

コロナ対策

質問 ワクチン接種と同時にPCR検査や抗原簡易検査キットの活用を
答弁 無症状感染者の対策は重要で、県にも要望していきたい

質問 新型コロナウイルス感染症拡大は予断を許さない状況です。行政、医師会、関係者の早期からの取り組みにより、町のワクチン接種の進捗状況は混乱もなくスムーズに進んでいることを心から感謝しております。
健康長寿課長 抗原簡易検査キットについて県は、高齢者施設、障がい者施設、有床医療施設に週一回の配布を行っています。学校関係、保育所等の職員への検査については、費用や医療行為となる場合の対処等を考えると、県に対応をお願いしたいと思います。

再質問 今後の感染症対策において無症状感染者の発見も大きなポイントになると思います。
引き続き県に要望することが必要だと思います。



町長 無症状感染者の対策は重要です。町単独ではできないことも多いので、県市町村会議で、ワクチンの早期配分や配付日時を明確にすること。そして、診療所、学校関係、保育所、デイサービスセンター、ヘルパー等へのPCR検査、抗原検査の拡充を要望していきます、みなべ町はみなべ町としての対策も進めていきたいと思えます。

まちづくり

たま い のぶ ゆき
玉井伸幸 議員

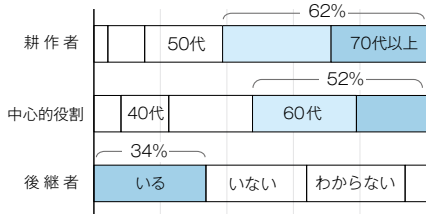


質問 空き家・移住・後継者、一層のとりくみを
答弁 庁内専門チームによってとりくみを進める

空き家の増加、後継者不足が心配

質問 ①空き家が増えている。平成28年調査で333件、現在はこれを大きく上回るだろう。詳細な実態調査を行い、再利用について力を入れるべきだと思うが。

②町は移住招致のとりくみを進めてきたが、事例をあまり耳にしない。一方で、農業の担い手が高齢化し後継者がいるのは3割あまりしかない。耕作放棄地も年々増加し、今後危



農業の担い手 みなべ町調査

機的な事態が予想される。ここに、移住者を受け入れる余地があるのではないかと。この間どの程度の移住件数があったか。今後どのように取り組むつもりか。

来年度空き家調査を実施

町長 ①空き家について来年度詳細な調査を実施したい。空き家再利用のため町広報での折り込みや固定資産税通知の際のチラシで空き家バンクへの登録を呼びかけている。過去3件登録され高城地区で2件契約済み。耕作放棄地への移住者受入れでは、農地の条件等で実際の検討が必要だ。

過去3年で3世帯が移住

町長 ②移住実績は、

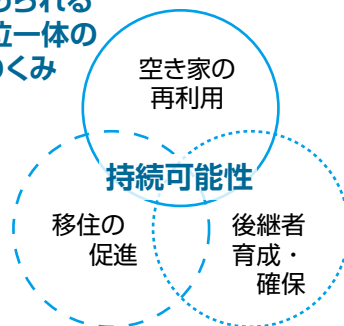
平成30年度から1世帯3名、翌年ゼロ、翌々年2世帯2名。問い合わせは令和元、2年度ともに8件あり、うち新規就農は2件あった。

空き家・移住・後継者一体的なとりくみを

再質問 空き家再利用と移住・定住推進そして後継者確保は、相互に関係し合う三位一体のものだ。この業務は地域での実情把握や関係者との折衝、外部への発信やマッチング、あるいはその後の継続した相談が求められる。そのためには専門チームが必要ではないか。

ある町では、この業務に当初から3名の専門スタッフを配置、10年あまりで69件の移住・定住があった。空き家バンクへの登録件数の多さも実績の要因だと言う。こうした成

求められる三位一体のとりくみ



専門チームによる日常的なとりくみを

- 現場把握
- 家主・地主との折衝
- 広報・問い合わせ対応
- マッチング
- 移住者継続相談

果から学ぶことがあってもいいのではないかと。移住招致は、町が掲げる各種の計画すべてに謳われている。ならば、これに向かって邁進されるよう強くお願したい。

チームによるとりくみを検討する

町長 一般に移住に際して仕事のないことがネックとなる。みなべ町は梅産業を中心に仕事は決して少ないわけではなく、他に比べて

その点で恵まれている。耕作放棄地の利用もそのひとつ。空き家バンクへの登録件数を増やせばその相乗効果も期待できる。町内の空き家を購入し移住された方の成功例や国内の先進事例を参考にみなべ町にあった対策を立てていきたい。そのためにもそれなりのチームは必要だ。検討を始めたい。また、そうすることで各種計画の目標に邁進していけるのではないかと考



産業建設常任委員会 委員会レポート



5月17日、うめ着果状況、雹による梅の被害状況について、
うめ課から報告を受けました。

例年、産業建設常任委員会では、町内の定点園地において、梅の作況調査を実施してまいりました。

しかし、コロナ感染症拡大の状況を鑑み、昨年に引き続き、現地へ出向いての作況調査を取り止めました。そこで、5月17日にうめ課平課長にお越しいただき、日高果樹技術者協議会が実施した着果状況調査結果の報告を受けました。また5月1日の雹被害についても併せて報告を受けました。

●うめ着果状況調査結果

4月19日、20日にJA、市町、南部高校、農業共済組合、県うめ研究所、日高振興局農業水産振興課で構成する日高果樹技術者協議会で着果状況を調査しました。
調査地点は145園（みなべ町105園、印南町15園、御坊市6園、日高川町19園）。

○着果数
100節当たりの着果数は9.6果で過去10年平均比の144%と多い。

【100節あたりの着果数】

岩代・南部	12.6果（過去10年平均：多）
上南部	8.3果（過去10年平均：多）
高城	6.5果（過去10年平均：やや少）
清川	14.6果（過去10年平均：多）

○果実肥大状況 果実肥大は24・9mm（長径）で過去10年比115%、平均重は10・5gで過去10年比160%
○生育状況 平年より5日程度早い（満開時からの積算温度予測）

●雹による梅被害状況
5月1日午後4時30分頃に約5分間降った雹により、町内各地の梅に被害がありました。

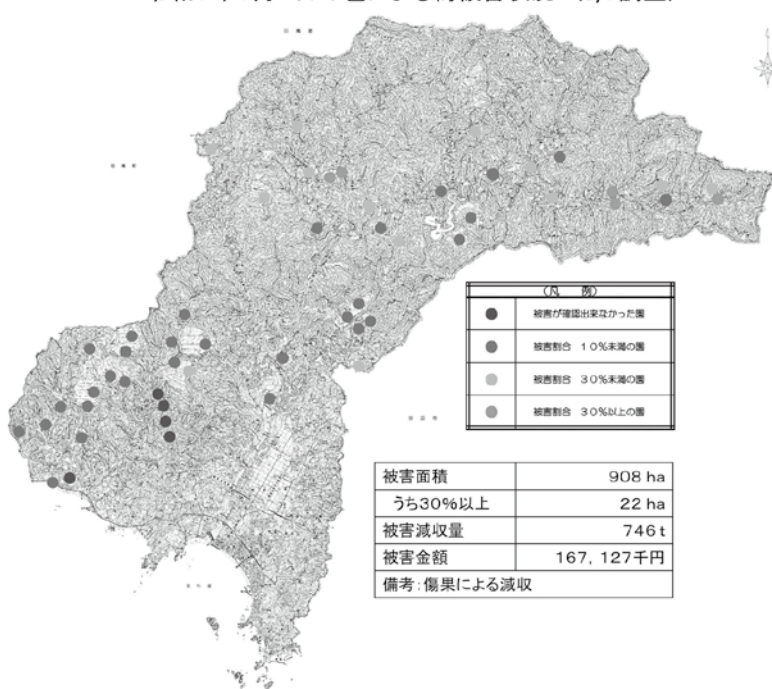
県、町、JA、農業共済による被害調査の結果は、被害面積908haあり、うち30%以上の被害面積は22ha、被害金額は1億6,712万円でした。

清川や高城地域で大きな被害がありました。



雹により傷ついた梅

令和3年5月1日の雹による梅被害状況（5/7調査）





議会広報モニターさんの意見をご紹介します

みなべ町議会広報特別委員会では、「議会だより」の内容の充実を図るために町民の皆さんの中から「議会広報モニター」を新たに募集しました。このほど、第61号（令和2年12月発行）について、アンケート調査を実施し、建設的な意見を頂きましたので、今回は、その一部を紹介します。



各議員さんの質問の数をグラフにして示すべき、任期中一度も質問に立たない方がいるとか…考えられないことです。

議員の発言にもありますように堺区は海に近く、避難場所がなく、高台に避難所ができれば、これからの高齢化に伴い少しは安心できるかと思うので、ぜひお願いしたいと思います



道路の白線の引き直し、歩道のない所のグリーンベルト設置をしてほしい。県道200号線もそうでしょうか、町全体点検して早急に対応してください。以前小学校へも呼びかけております。

議員の一般質問に対し、町長の答弁で議案に対し検討しますとか、考えていますとありますが、最終的に実施された場合、誰のいつの質問だったのかがわかれば町民も議員がすばらしい質問をしたなと思うのではないでしょうか。



吉澤局長が県町村議長会の自治功労者表彰を受彰

みなべ町議会事務局の吉澤一男局長（59）が、県町村議会議長会から自治功労者表彰を受彰されました。

局長として5年以上在職し、功労があった人を対象に表彰しており、今年は県内で4人が受賞されました。例年、同議長会総会で手渡されていますが、新型コロナ禍のため、それぞれに送付されました。

吉澤局長は、1980年4月に職員に採用され、議会事務局へは2016年4月から局長として在職して6年目です。常に、スムーズな議会運営に尽力しており、今回の受賞に「光栄に思います。これからも職務に励みたい」と話してくれました。



多くの町民の力で守られてきた 魅力ある『鎌田池公園』



四コマ漫画

「脱炭素社会」編



作 ウメたん



▲公園管理の中心的な役割を果たしている松本佳示さん

▲地元住民の有志で管理されている「鎌田池公園」(東吉田)



高齢化で、今後の公園の維持管理が課題！

鎌田（かまだ）池公園は、東吉田地区にあります。今の季節は、心和む蓮の花が見ごろで、アガパンサスの花も咲き誇っています。アーモンドやクルミの木々は秋になると自然に実を落とし、その実は格別に美味しいということです。フェイジョアやポポーの木の実も季節を楽しませてくれたり、SNSで知ったトルコの方が、アーモンドの木を見に訪れたりなど、鎌田池をずーっと見守ってこられている松本佳示さんは、静かに一つひとつを懐かしみながら語ってくださいました。

2005年度に法律が変わり国有地である池が地方自治体に移管となり、鎌田池公園化事業がスタート。地区を超え多くの方々が繋がり、助け合い、景観を大切に考え、維持してきました。

現在では、保育園児が遊び、グランドゴルフや花見、散歩、避難場所等で、みんなの広場になっています。一番のおすすめは、60種類にも及ぶ300本の椿の季節です。その時期には新型コロナも収束して、多くの人々の瞳に椿が映し出されていることを願います。

しかし、高齢化による人手減少で維持・継続していくことが困難になりつつあります。東吉田はみなべ町の中でも人口が増加している地区ですが、新しく住まわれる住民とどうやって維持・継続していけるのかが問われています。

ようつこぞみなべ町へ! 移住者インタビュー

もりもとしょうへい
森本祥平さん (38)

出身地：奈良県
現在のお住まい：埴田
お仕事：しょうへいファーム (代表)



7年前にみなべ町に

みなべ町に来てから、最初は配達業に従事しました。その仕事を通し、みなべ町の梅文化に触れ合う機会が多く、また梅文化に関わる人が魅力的に見えました。いつのまにか自分も梅の事業に携わっています。

人付き合いのスタート

最初は大変な時もありましたが、たくさんの方にやさしさや、ぬくもりをいただきました。この町に育ててもらっている感覚です。これからみなべ町に恩返しするために頑張りたいと思っています。今後さらに多くの方々と関わっていききたいです。

永住します! !

自分の生まれた町は人口が14万人。自分の価値を感じなかったのですが、みなべ町では、自分の価値を感じる機会が多いです。そして奈良出身の自分にはベランダから見える海の景色が日々の幸せです。

戦術ではなく戦略で

毎年、梅の収穫の連絡が来るが、自分一人では限界があります。体一つでは多くの人を助けられないと痛感しました。外からの視線で、先入観のないアイデアや考えを生かし、仕組みで多くの人に貢献できるように日々勉強していきます。

議会の傍聴にお越し下さい

次回の議会日程は次の通りです

9月議会

9月1日(水) 午前9時〜

あとがき

梅の収穫作業がほぼ終わった7月初旬に議会だよりの編集作業をしています。広報委員に4名の梅農家があり、今年の梅収穫の話をお願いしながら作業をしています。

各家で違うでしょうが、総じて昨年の凶作から一転しての大豊作だったのではないのでしょうか。暗いニュースが多い中、町内は梅で活気づいているように感じます。町の景気もこの豊作で持ち直してくれることを期待します。

今後ともより良い「議会だよりの」を目指し、改良を続けて参ります。お気づきの点がありましたら、何なりとお寄せください。

広報特別委員会 真造賢二